

図書館だより 3月号

＝図書館利用時間:平日(開校日)午前9時～午後4時

3月の「読書会」は、3月12日(木)13時30分からです。4月はお休みです。

今月は、二月の読書会で話題に上った三冊の本について簡単にご紹介します。

まず、写真集『わすれたくない海のこと』。



中村卓哉
偕成社

山から川、そして海へ…。遠い昔から続いたきた生き物たちの命の輪。それらに育まれた豊かな海、沖縄県辺野古の『大浦湾』が紹介された写真集です。写真を眺めながら、文章を読みながら、湧き上がってくる思いがありました。

命の輪が奏で続ける微かな音に、ヒトは今、耳を傾けているだろうか。 (S・G)

二冊目は『一日一言』。日本の仏教詩人と言われている坂村真民(一九〇九～二〇〇六)です。最後のページを紹介します。



坂村真民
致知出版

十二月三十一日…六魚庵独語

よい本を読め

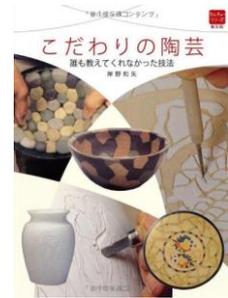
よい本によって己を作れ

心に美しい火を燃やし

人生は尊かったと

叫ばしめよ

最後に、三冊目『こだわりの陶芸』。これも、写真集です。



岸野和矢
グラフィック社

右の本に関連して、村の陶芸教室を主宰する長谷川さんから教室の紹介がありました。「世界にたった一つしかない個性あふれる自分の作品として、食器、花瓶などを作ってみませんか？」 長谷川

以上、三冊の本から話題が広がりました。

山から流れていく水に関して、「三浦のダム」は関西電力なのに、どうして王滝村の電気は中部電力から来ているの？ また、読書会当日のNHKの番組「あさいち」に出演した王滝村の樋口さんご夫婦の話題から郷土食としての『スンキ』は、初発が王滝村ではないのか？という意見が出されたり…と、次から次へと話題が飛びました。

以上の三冊の中で、二冊目の坂村真民の『一日一言』は、図書館にあります。手に取ってご覧ください。

図書館では、手芸本も多数あります。最近、有志が集まり、本を参考にして実際に編み物に挑戦しようという試みがありました。以下、二月の読書会の様子と完成した作品をご紹介します。

